

一 あおさ年
さとむ
おいしい
きだよ
てまる
こもこ
たらた
つつつ
のたに
中あは
にとい
もはっ
うちて
ダちゆ
ツのめ
シもの
ユの中



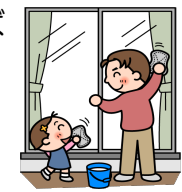
田川浦平口里
舞美望羽蘭愛

二 こ冬お冬年
たのでの
つ朝んよ
か力食る
らイベお
体口心ふ
食がもろ
べわ体に
らりも入
れにぽっ
ダはって
ンはか九
ゴのぽ九
ム足かけ
シ い
こ



平中川大松沼口賀
壺美陸大波空時

三 大たは千そ山何寒年
みだら円うの回す
そいいをきぼもぎ
かまっもんり数て
そがぱらの見えこ
う終いつ冷下てた
じわでてたろにつ
でらもえさすやに
発ぬまが感町にも
見うだおじにやぐ
五ち食年大うおり
百にべはそっ年目
円こるじうと玉を
たもめじり と
つち と じ
入と る
りそ
ば



米吉湯松西中坪小
山岡川下尾川川橋
彰 凜
紀結海恋 風太
信衣輝百涉仁斗朗

四 元木起指お年
日がきを年
にらなさ玉
合しいしゲ
格にと母し
願ギでとム
いユもさか
手ッ起が貯
をとし金
合固らたか
わまれオウ
するぬりで
帰冬オを
りのン組
道朝ざむ



松林田武小
本田平宮川
咲玲聖 和
月実華慧輝

五 外早何雪鏡大クク除年
はおもがも雪リリ夜
雪きせふちだススの
ふしずる丸じママ鐘
と年一あいゆススイ
ん玉日の顔ん心大つ
にめ終白しびしきの
もがわ銀てばずな間
ぐけるよどんかふに
り親ねもったにくや
ささ正うしん夜ろら
あが月一りいをまゆ
ゆし 度とぞ待くめ
め 合つらの
だ 戦 も中
と



渡米平中坪島川川伊
辺山松沼川口畑上藤
加
脩寿妃海悠泰 莉優
太也那人翔輔怜歩哉

六 雪し天氷初年
ふも上点夢
れ柱で下に
ばバ皆ス母
すりをケが
っバ見し出
てり守トて
んパるリき
こリオンて
ろリリク大
り大才が波
ん合ン水乱
あ唱座面
い に
た た
た



草中川小浦
野川口川里
寛 大知
匠子倫和愛

生 ばら子 出 同
俳なかいや一等と様第
句おりま気つをこ元三
大、し持一テろ気学
賞い是たちつしでに期
『つ非』がのマ今日が
にもお今伝作に回々ス
出の楽回わ品、ののタ
品こしのつに様俳生し
しとみ作て目々句活ト
まで下品くをなはをし
しすさもる通思、送ま
たがい子よしい冬つし
。、。供うまを休てた
今 たです『みい。』
回 ち、と俳をま子
の のと、句過す供
作 感て子『ご。』た
品 性も供にし表たは、
は が楽た表し現子、
『佛 光しち現子、二
教 て読そまたち、学
大 いまのしちの、期
学 るせ時。思、まで
小 作ての。思、と
学 品も様 い